

# NPO法人 あっとわん

ママのこころと笑顔の応援団



第135号  
通信

あっとわんは子育て支援の団体です。親と子のエンパワメントを応援しています。 2015年2月27日発行 46,370部

PTAや子ども会、何かの役員になったら使えるスキルは…

## ファシリテーションのスキル

【ファシリテーション】とは、人々の活動が容易にできるよう支援し、うまく事が運ぶように舵取りすることです。集団による問題解決、アイデア創造、教育、活動など、あらゆる知識創造活動を支援し、促進していく働きを意味します。その役割を担う人が【ファシリテーター】であり、会議で言うところの進行役にあたります。

役員なんて怖くない!



ファシリテーションのスキルは、会議だけで使われるものではありませんが、人間関係にまつわるコミュニケーションとして知っておくと、とても役に立ちます。人が集まる場所では、話し合いや会議が必ずあります。積極的に意見を言う人と、そうでない人のアンバランスな関係はそうめずらしいことではありません。意見の内容よりも、「誰の意見なのか」が優先されたり、意見を活発に出していった結果、混乱を招いてしまうこともあります。

こんな経験をしてしまうと、「やっぱり意見は言わないでおこう」と思う人もいるでしょうし、そんな様子に見かねて本意ではないと思いつつも、意見を言い続ける人も出てしまいます。そこで、ファシリテーションの技法をしておくことで、なんとなく嫌だなあと思う会議や話し合いも、ストレスがかなり減ると思います。ファシリテーションの進め方の専門的なことは、さまざまな書籍が出ているので、それを参考にしていきたいと思いますが、今回はその基本的なところをお伝えしたいと思います。

### ぐだぐだになる時間を減らすためのヒント

～人が集まって話をするときは～

- 話し合いの目的をしっかりと提示すること**  
何のための話し合いなのか？何を決める時間なのか？をはっきり伝えましょう。
- 時間の流れをわかりやすくする**  
何時までに何をやるのか？開始と終わりの時間を、決めておきましょう。
- メリハリをつける**  
時間を守りつつ、「今何をしているのか？」という仕切りをしっかりとすることでメリハリがつかます。
- 意見を出すための工夫**  
付箋に意見を書いてもらって、出し合うという方法もありますが、両隣や前の人などと雑談的に話をしてもらったりする時間をとりましょう。(バズセッションと言います)
- 話し合いや会議の時間で何が起きたのかを明らかにする**  
「話し合いの結果出た内容」「まだ決められなかったこと」、など【次にどうなぐことをその場にいる人で確認し合う】こと。

基本は左の5つですが、これを管理し進行するのが、ファシリテーターの役目です。

強引に独断で決めるのではなく、参加者の意見を聞きながら進めていくことがポイントです。進行役であるファシリテーターや司会者の価値観や意見を優先させるのはいけません。当日の話し合いや会議で目標にするところは、誰にでもわかるようにしておくことが何よりも大切です。

ファシリテーターって難しい！  
と思わずに、話を丁寧に聞くことを心がけてください。



結局、  
【何を、何のために話し合うの？】  
が基本中の基本になります。

参加者全員がまんべんなく意見が言える工夫 → 声をかける、付箋を使う、ワークをするなど、話を丁寧に聞き、整理しながら進めていくこと。そして、話し合いのゴール目指してやってみましょう！

参考図書：「ファシリテーターの道具箱」森時彦著 ダイアモンド社 1429円+税

あっとわんのFacebookページでイベントなどの様子をアップしています。

<http://www.facebook.com/npoatone>



いいね！  
してね！

あっとわんのホームページ

<http://npo-atone.jimdo.com>

ブログも読んでね!

代表理事 河野弓子のブログ <https://ameblo.jp/berinyan/>

東部子育てセンターのブログ <http://blog.canpan.info/atone-toubukosodate>

あっとわん春秋

就園・就学が近くなり、いろいろな不安を感じている保護者の方も多いのではないだろうか。不安を感じる時は、先が見えない時や自分の想像の範囲を超えてしまっていて、安心に変換できる方法が自分の中で見つからない時が多いようです。不安を安心に変えていくために必要なのは、大丈夫だったという経験をどれぐらい持っているかということ、その経験を知恵に変えていけるマインドです。▼また、不安を感じてしまう時、それは、どんな不安なのか？を自分に問いかけてみて、どれだけ考えても解決できることではないようなことなら、いったん不安に感じること自体を止めてみるのが時には必要です。止めてみるということができないのなら、少しだけ保留にしておくというのもアリなのです。時間をおいて、様子を見てみるという感じですが、不安が小さくなっていったら、そこで気になる部分だけに対応していくといいと思います。▼あまりに不安を意識しすぎたり、フォーカスし過ぎると、本当に考えたり感じたりするところが、わからなくなってしまう。時間はどんな時も流れていきます。ゆるやかに流れに乗っていくことを意識してみるといいかもしれません。

かわのゆみこ